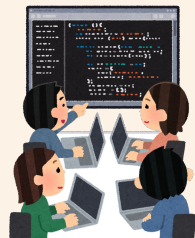


2026年度 SSH特設科目「SSII」

【第1回】 「SS II」ガイダンス

2026年4月16日（木）



「SS II」概要

SS II（必修2単位） = 総合的な探究の時間（2単位分）

専門的課題研究

探究の実践・成果の発信

高1「SS I」

プレ探究から
専門的課題研究へ

「研究基礎力の確立」→ 探究の型を学ぶ

自分の興味や関心を社会の客観的な課題へと昇華させ、
適切な「リサーチクエスション」を導出するプロセスの徹底する。



高2「SS II」

専門的課題研究の
深化と成果発信

「研究の専門的深化」→ 専門領域での検証

研究基礎力を土台に、検証の反復によって専門性を深める。
専門家からの多角的なフィードバックを研究の洗練につなげる。

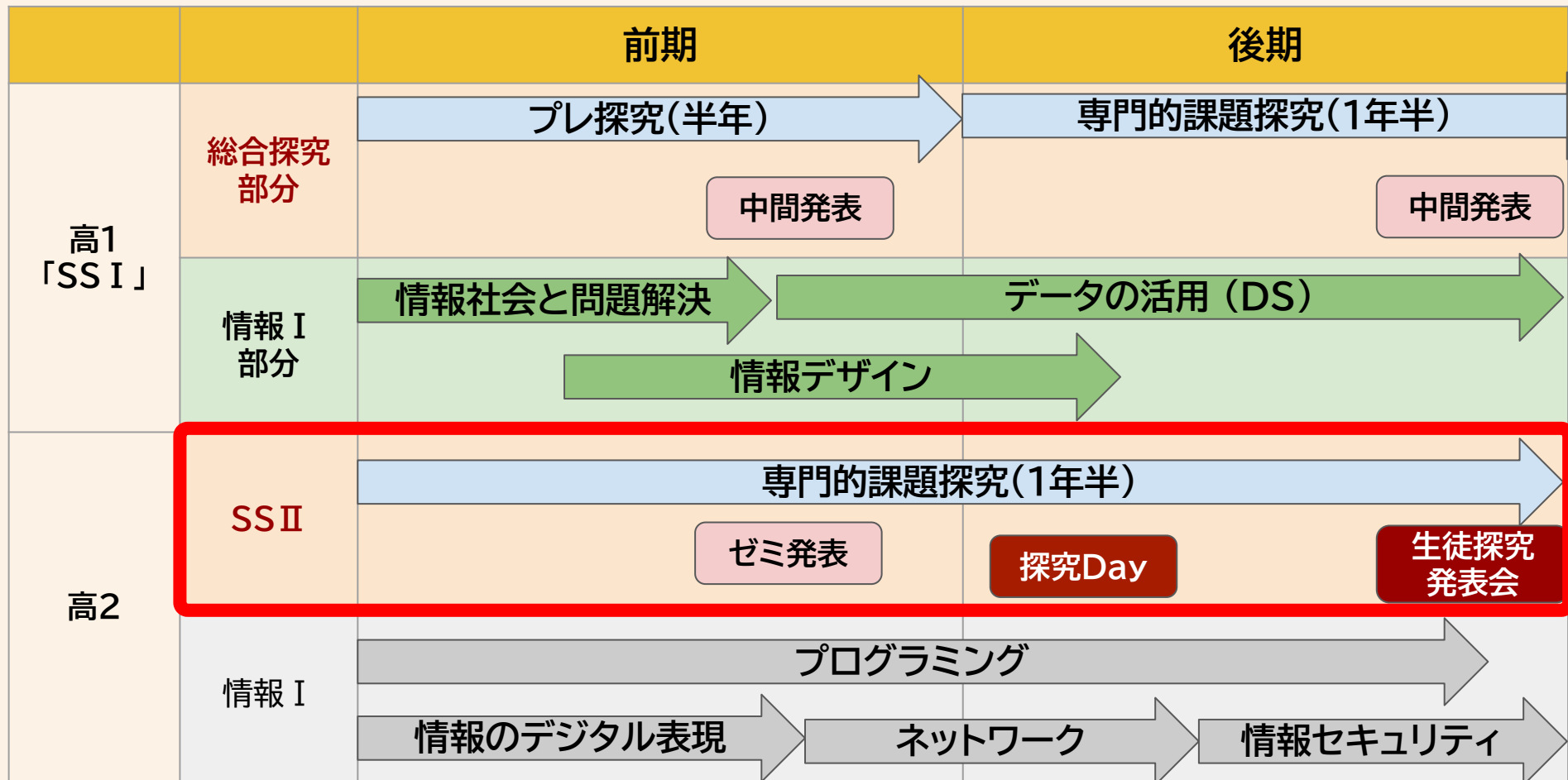
本日のガイダンスの内容

1. 「SSⅡ」年間計画
2. 「SSⅡ」の目標と成績評価
3. 外部コンテスト
4. より良い研究を目指して
5. 研究ステップアップ講座

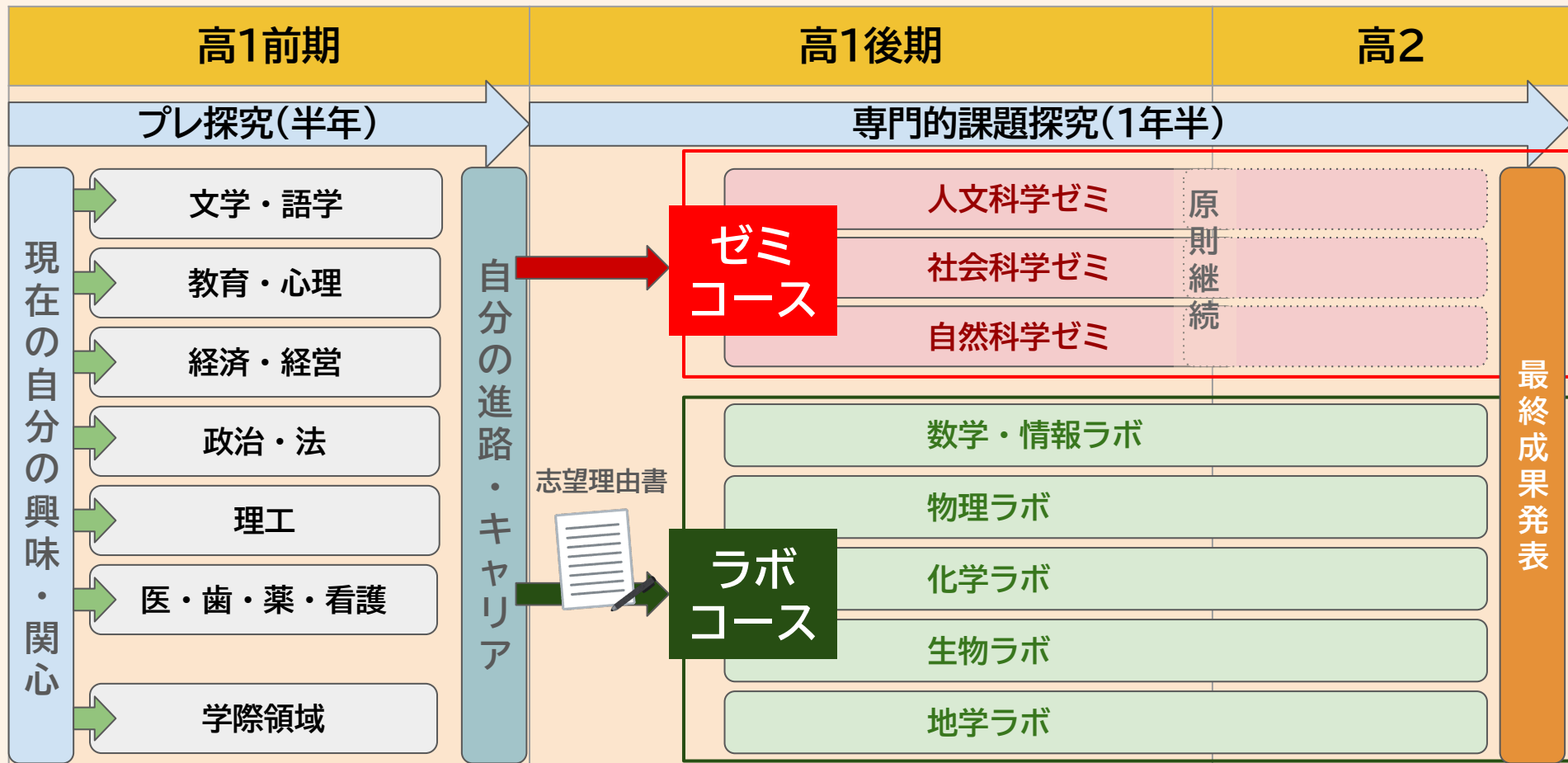
「SS II」年間計画

- 全体像をつかむ -

高1・高2 年間計画 全体像



プレ探究から専門的課題研究へ



専門的課題研究のイメージ

STEP1

研究テーマを決める

STEP2

リサーチクエスチョンを導く

STEP3

仮説を立てる

STEP4

適切な研究方法を選ぶ

中間目標

研究計画書を作成する

STEP5

調査・実験を実施する

STEP6

結果をまとめて考察し、結論を導く

STEP7

研究内容をまとめ、発表する

より高次のRQへ

高1
中間発表

探究
Day

生徒探究
発表会

step1

振り返り

step7

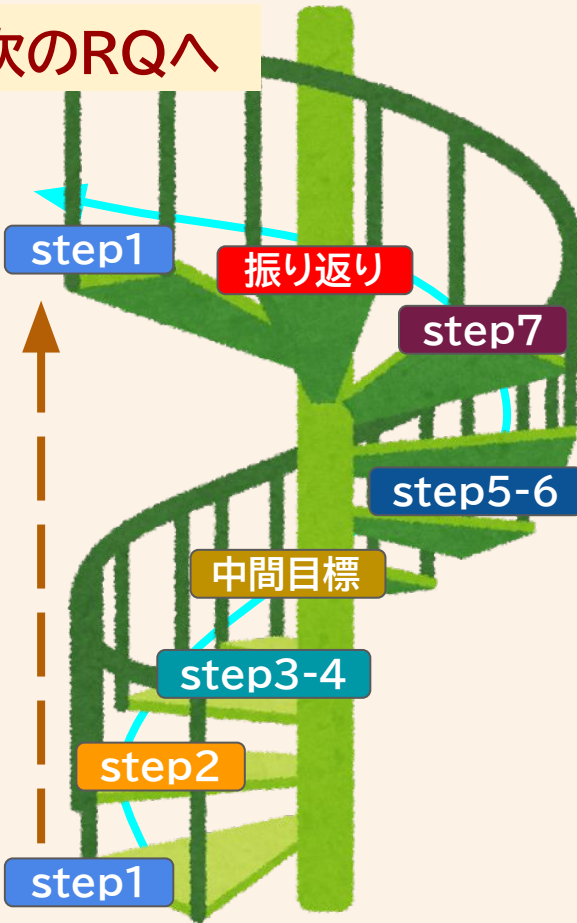
step5-6

中間目標

step3-4

step2

step1



「SSII」の目標

- どのような力を身に付けて欲しいのか -

学校設定教科「SS」の目標

課題研究を行うことを通して、自己の在り方や生き方を考えながら、
よりよく課題を発見し、科学的に解決していくための資質・能力を身につける。

研究基礎力	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
問題発見力 問題解決力	社会・学術の諸問題と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、 情報を集め、整理・分析して、 まとめ・表現することができる ようにする。
自律的活動力	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの個性を生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

「SS II」の評価

※発表の評価対象には発表資料(ポスター、スライド、研究要綱など)も含まれます。

知識・技能	探究Dayにおける中間発表(11月) 生徒探究発表会における最終成果発表(2月) 研究活動の評価 (「 研究基礎力 」を評価)
思考力・判断力・表現力	探究Dayにおける中間発表(11月) 生徒探究発表会における最終成果発表(2月) 研究活動の評価 (「 問題発見力 」「 問題解決力 」を評価)
主体的に学習する態度	探究Dayにおける中間発表の振り返り(11月) 生徒探究発表会における最終成果発表の振り返り(2月) 研究活動の評価 (「 自律的活動力 」を評価)

外部コンテスト

高校生国際シンポジウム

研究要綱提出：1月初旬／発表会：2月中旬

全国の高校生が集まり、課題研究の発表会および審査会を行う。
人文社会学の研究から自然科学や数学、ビジネスの分野までの幅広い分野の研究成果を
スライド部門またはポスター部門にて発表。
その他、各界をけん引する方々による基調講演やパネルディスカッション、研修会、参加者対象
の交流会、進路に関する座談会など濃密な2日間のプログラムが用意されている。

■入賞歴

2023年度

スライド発表(人文科学)優秀賞 「源氏物語補作『雲隠六帖』を夢から読み解く」
ポスター発表(物理学・化学・環境)最優秀賞 「高分子電解質反応場を用いた硫酸塩反応晶折」
ポスター発表(生物学)優秀賞 「シモツケの葉の成長による気孔数及び気孔密度の変化」

2022年度

スライド発表(数学・物理学)最優秀賞「自己共振振り子の研究」

その他のコンテスト・発表会

◆ 全国学芸サイエンスコンクール

作品提出〆切：
9月下旬

課題研究の内容をレポートにまとめる。
サイエンスジャンル(理科系・社会科学系の各研究分野)と
学芸ジャンル(アート・文芸Ⅰ・文芸Ⅱ・環境の各分野)の2つのジャンルに
加え、一昨年度より特別企画としてスタートアップ部門が新設された。

■入賞歴 どちらも高校3年次に受賞。課題研究の内容を出品。

2024年度 入選(生物分野)、2022年度 入選(人文科学分野)

◆ 関東近県SSH指定校合同発表会

参加申し込み：
1月中旬
発表会：
3月中旬

関東近県のさまざまな学校から集まった高校生・教員や大学関係者と
質疑応答・交流することで、自身の課題研究をより客観的に評価して
もらえる。
他校の生徒の課題研究を見学し、視野も広がる。

より良い研究を目指して

- 研究を進めるうえで心がけるべきこと -

研究を進めるうえで心がけるべきこと

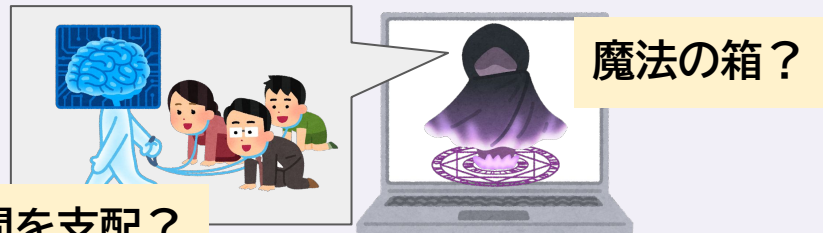
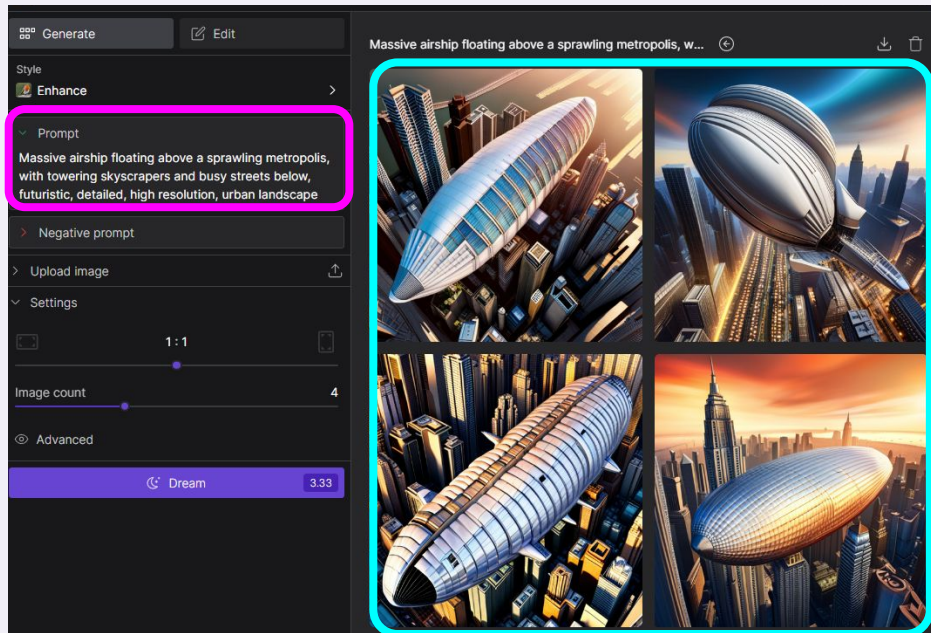
1. 「課題研究メソッド」を持参し、積極的に参照
感覚ではなくメソッドに沿った研究活動を
2. スケジュール管理の徹底
発表に向けた資料の準備 期日の厳守
3. 指導教員への報告・連絡・相談を確実に
特にメールの確認と誠実な返信(作法を守ることが最低限)
4. ガイドラインに沿ったアンケート実施
5. 対話型生成AIの適切な活用 本日配信の資料 参照

【SS II】研究ステップアップ講座①

適切なデータの読み取りと活用

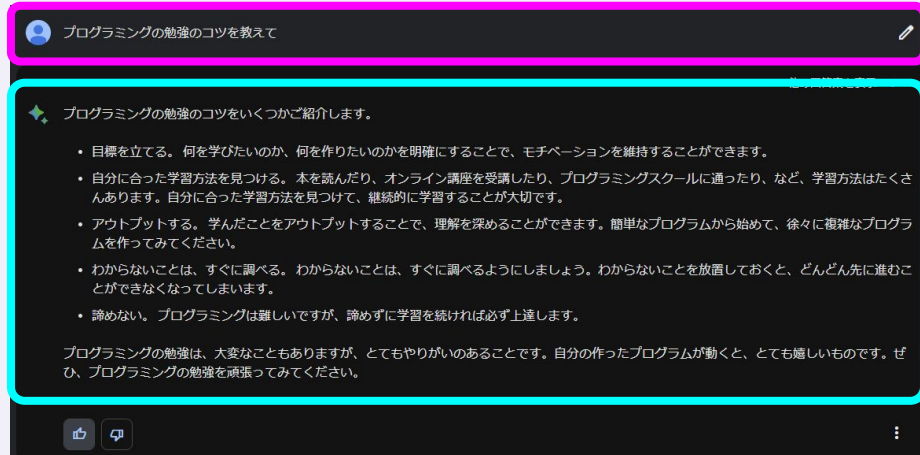
AIに仕事を奪われる未来？

Stable Diffusion(画像生成AI)



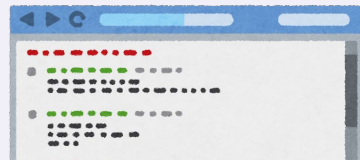
人間を支配？

Gemini (対話型AI)



情報の特性

複製性	情報は質を落とさず、 短時間に大量に複製が可能
残存性	一度作られた情報は 完全に消失することはない。
伝播性	情報は容易に伝わり、 広められていく。
個別性	情報の価値は受信者の状況や 価値観で異なる。
目的性	情報は発信者の意図が 介在する。



情報の信憑性

情報がどれくらい確からしいかということを、**情報の信憑性**という。



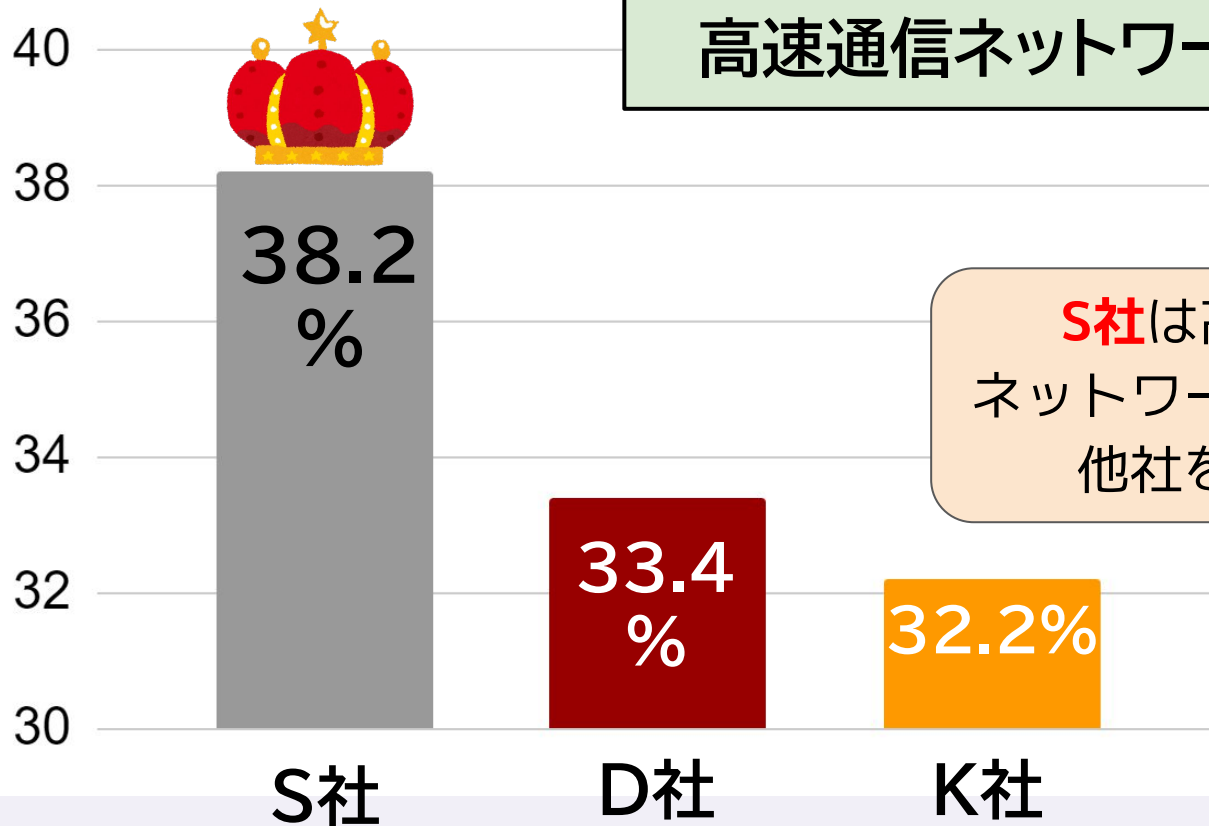
《情報の信憑性を確かめる方法》

- **情報源**がどこなのかを確かめる。
- 情報の**発信・更新日時**を確かめる。
- 客観的な事実なのか、誰かの**意見**や**推測**なのかを確かめる。
- **複数の情報源**から同じ情報が得られるかを確かめる。

(**クロスチェック**)

演習① 「満足度で他社を圧倒！」より

高速通信ネットワーク満足度

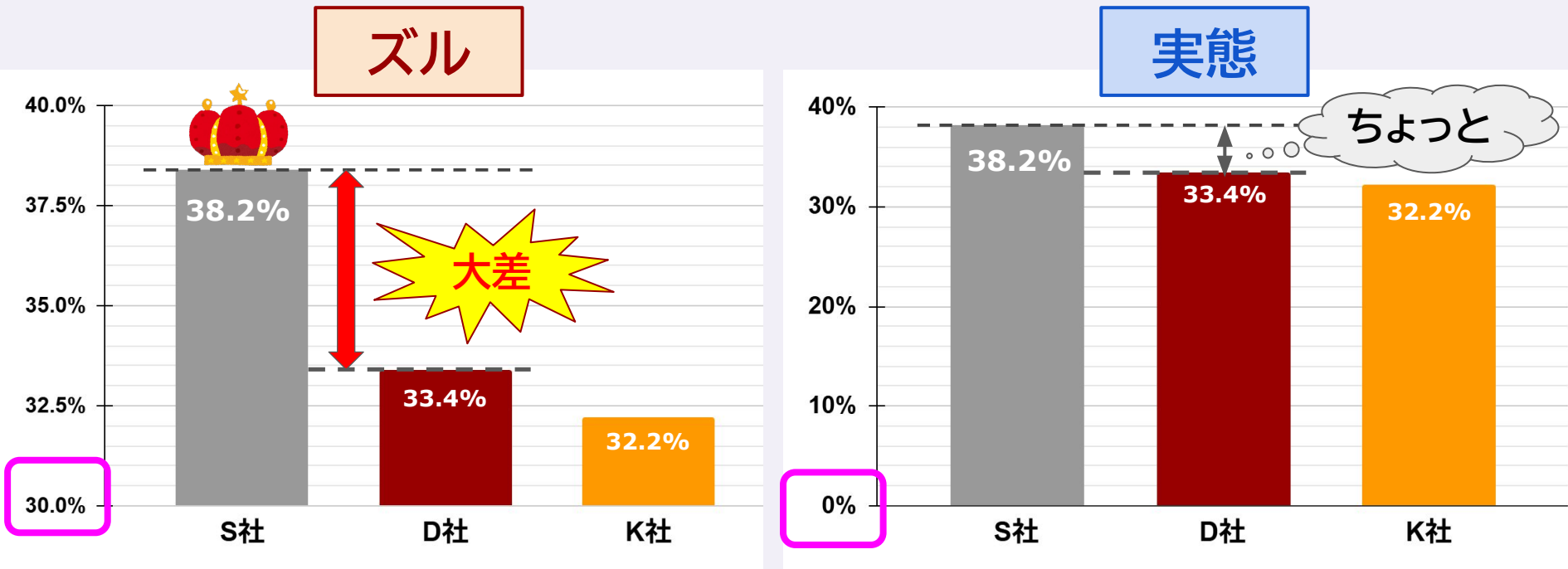


本当？

S社は高速通信
ネットワーク満足度で
他社を**圧倒**！



考察① 「満足度で他社を圧倒！」より



棒グラフを0からではなく、30%から始めるによって、
少しの差を大きく見せているんだよ！

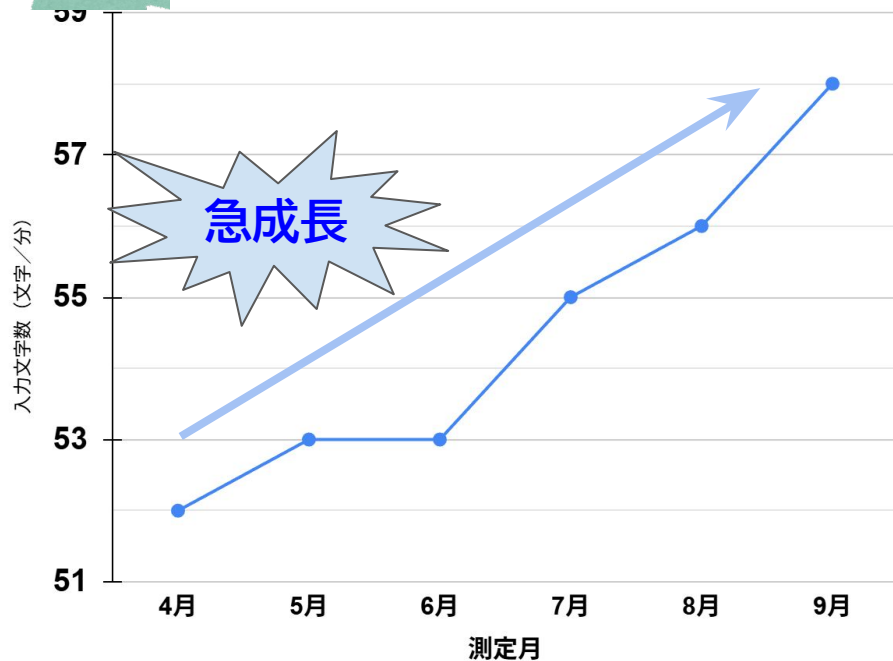
演習② タイピングが急成長したのはKくん？



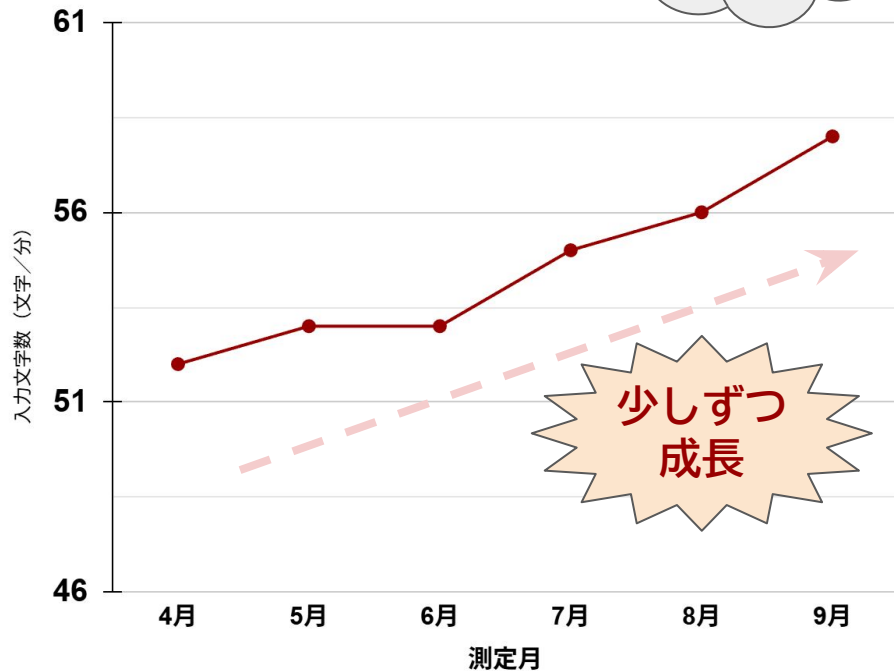
Kくんは半年で一気に速くなったな！

本当？

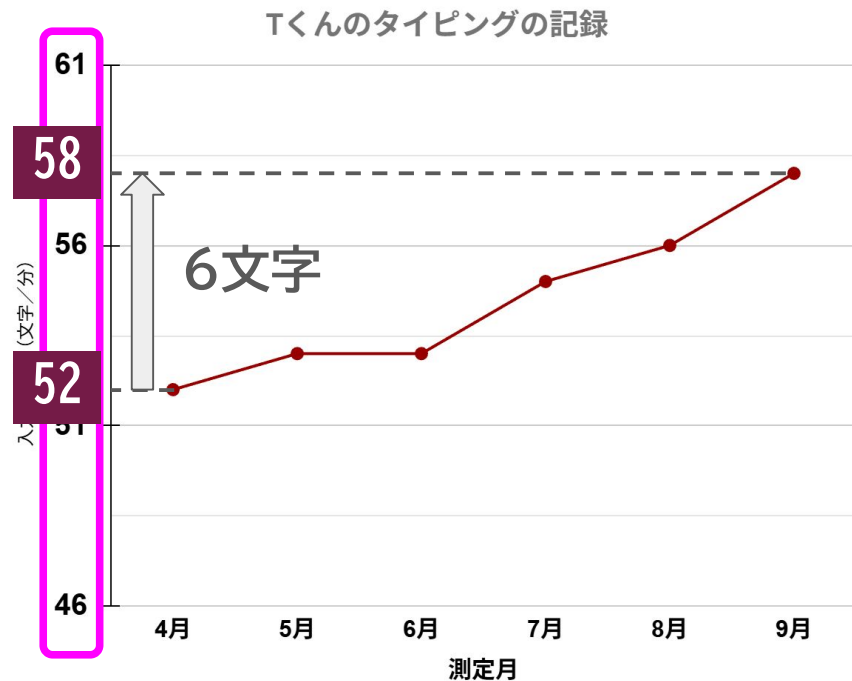
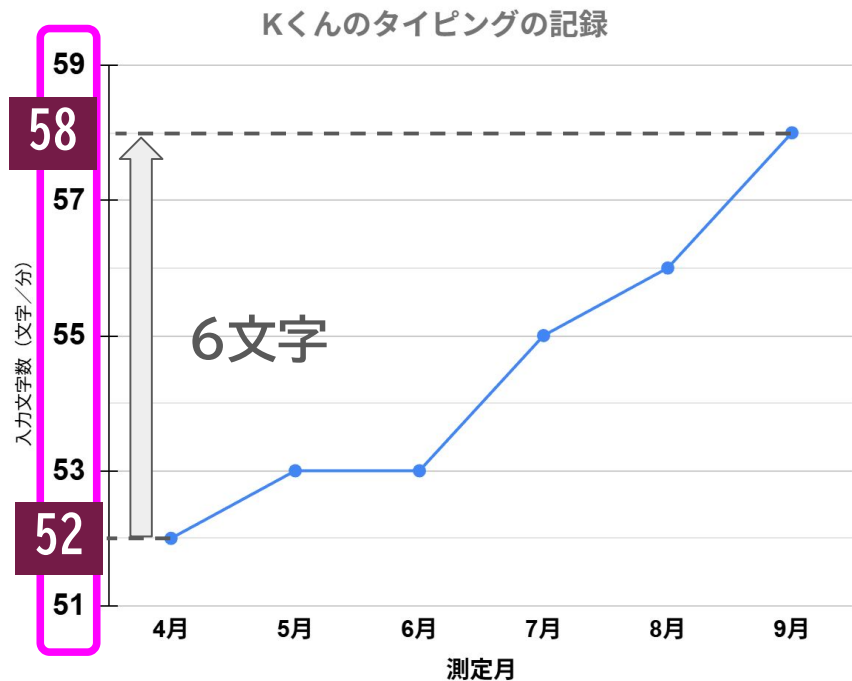
Kくんのタイピングの記録



Tくんのタイピングの記録

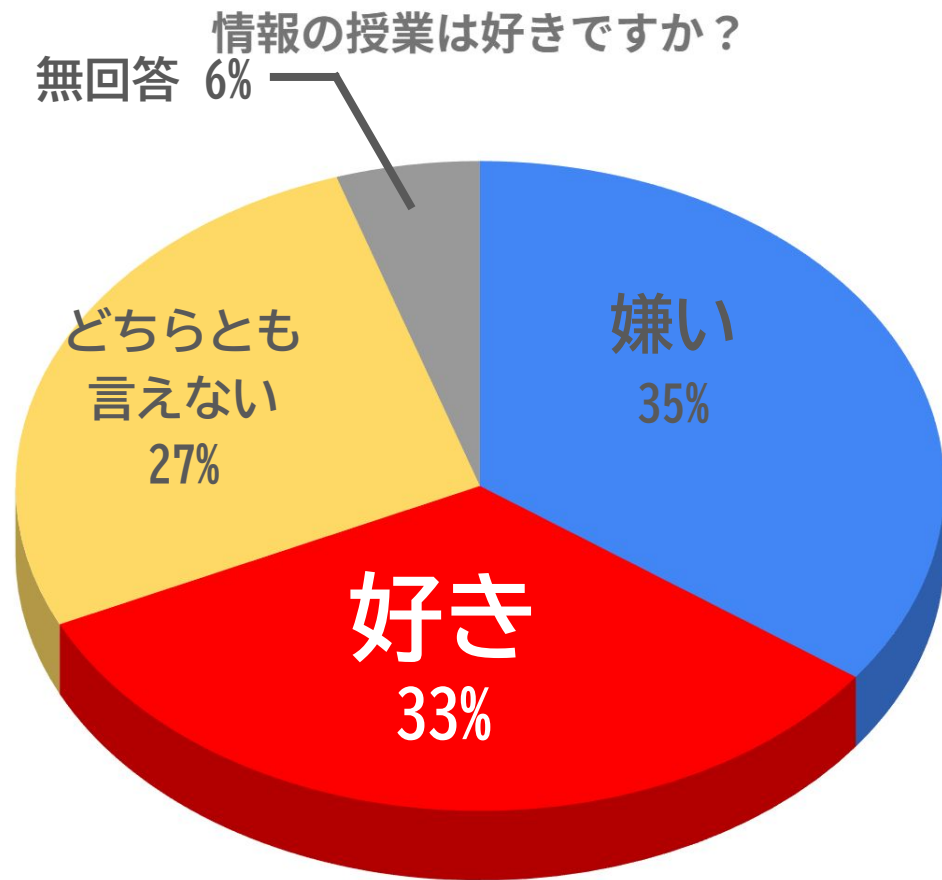


考察② タイピングが急成長したのはKくん？



折れ線グラフは縦軸の目盛の幅を変えることによって、
急な増減にも緩やかな増減にも見せられるんだよ！

演習③ 多くの生徒が情報が好き？！



★注意★
架空のアンケートです！

本当？

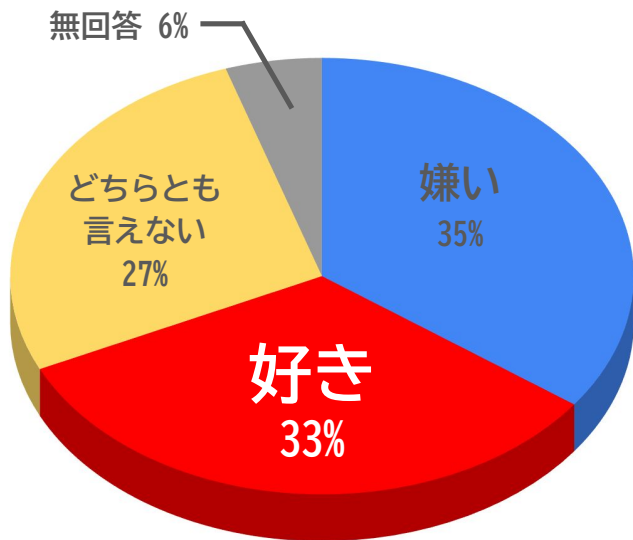
ご覧のように
情報の授業が
好きな高校生が
とてもたくさん
いますね！

情報科 S先生

考察③ 多くの生徒が情報が好き？！

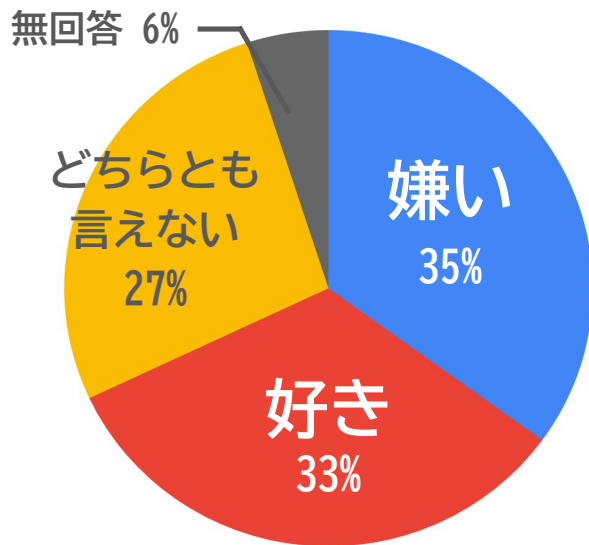
ズル

情報の授業は好きですか？



実態

情報の授業は好きですか？



円グラフを3D(立体状)にして手前に配置することで、
実際の割合よりも大きく見せているんだよ！



【補足】円グラフの開始位置



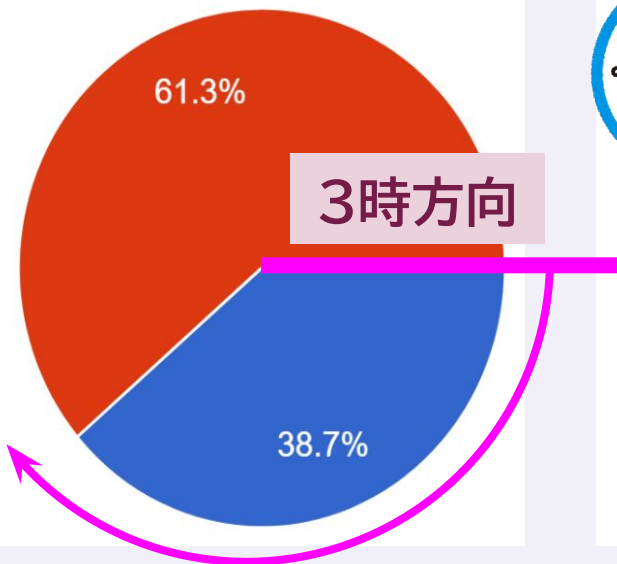
Googleフォームのコピー

プログラミングの経験はありますか

62 件の回答



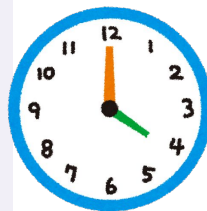
● ある
● ない



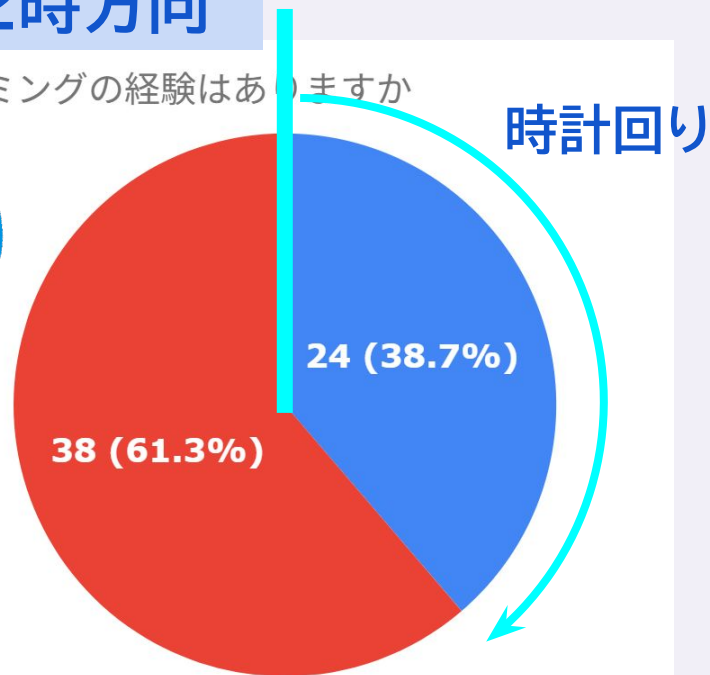
スプレッドシートで作成

12時方向

プログラミングの経験はありますか

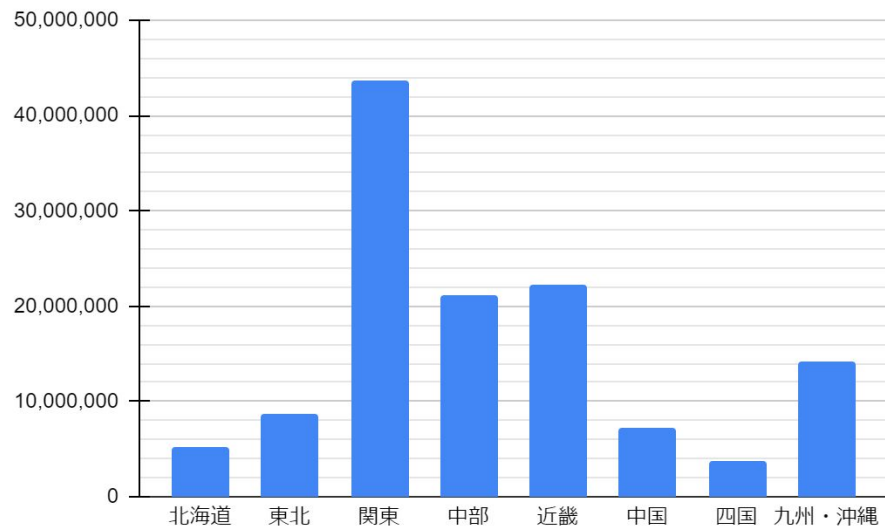


● ある
● ない



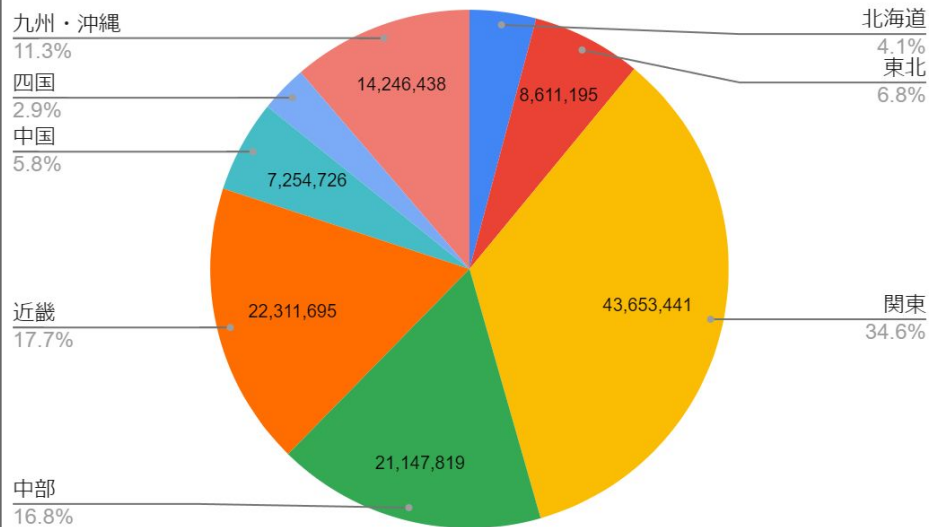
棒グラフと円グラフ 用途の違い

棒グラフ



カテゴリ間の大小関係の比較

円グラフ



各カテゴリの全体に対する割合

2系列データの分析

質的 データ	名義尺度	血液型, 氏名, 郵便番号
	順序尺度	10段階評定, 服のサイズ, 書道の段級
量的 データ	間隔尺度	西暦, 温度(摂氏), 知能指数
	比率尺度	距離, 年収, 質量

2系列	具体例	関連性の「形態」(目的)	適用手法
量的×量的	50m走と立ち幅跳び	2つの数値が連動して動くか？ (線形的な関係の強さ)	相関分析 (散布図)
量的×質的	新しい学習法 導入前後のテスト得点	2つのグループ間で平均に差があるか？	2標本t検定
質的×質的	数学と情報の好き嫌い	2つのカテゴリの割合が偏っているか？ (独立ではないか？)	独立性の検定 (クロス集計)

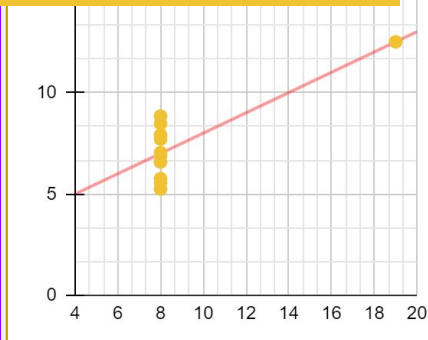
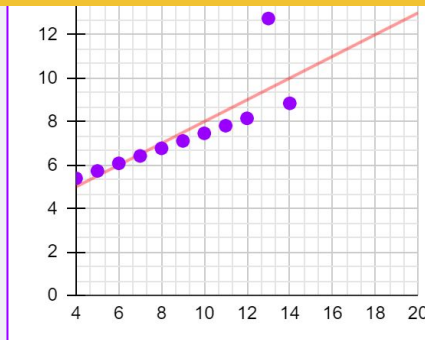
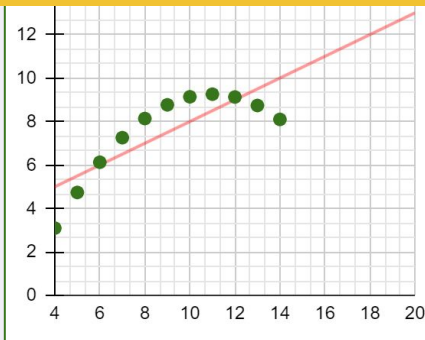
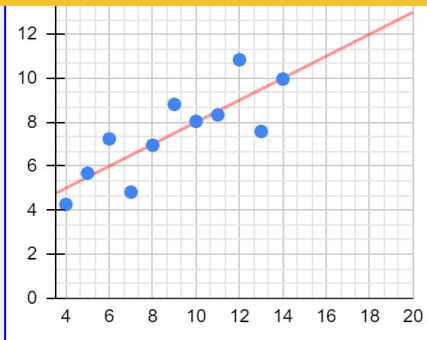
アンスコムの例 (Anscombe's quartet)

SEQ	x1	y1	x2	y2	x3	y3	x4	y4
1	10	8.04	10	9.14	10	7.46	8	6.58
2	8	6.95	8	8.14	8	6.77	8	5.76
3	13	7.58	13	8.74	13	12.74	8	7.71
4	9	8.81	9	8.77	9	7.11	8	8.84
5	11	8.33	11	9.26	11	7.81	8	8.47
6	14	9.96	14	8.1	14	8.84	8	7.04
7	6	7.24	6	6.13	6	6.08	8	5.25
8	4	4.26	4	3.1	4	5.39	19	12.5
9	12	10.84	12	9.13	12	8.15	8	5.56
10	7	4.82	7	7.26	7	6.42	8	7.91
11	5	5.68	5	4.74	5	5.73	8	6.89
平均	9.0	7.5	9.0	7.5	9.0	7.5	9.0	7.5
標準偏差	3.16	1.94	3.16	1.94	3.16	1.94	3.16	1.94
相関係数	0.82		0.82		0.82		0.82	

アンスコム の例 (Anscombe's quartet)

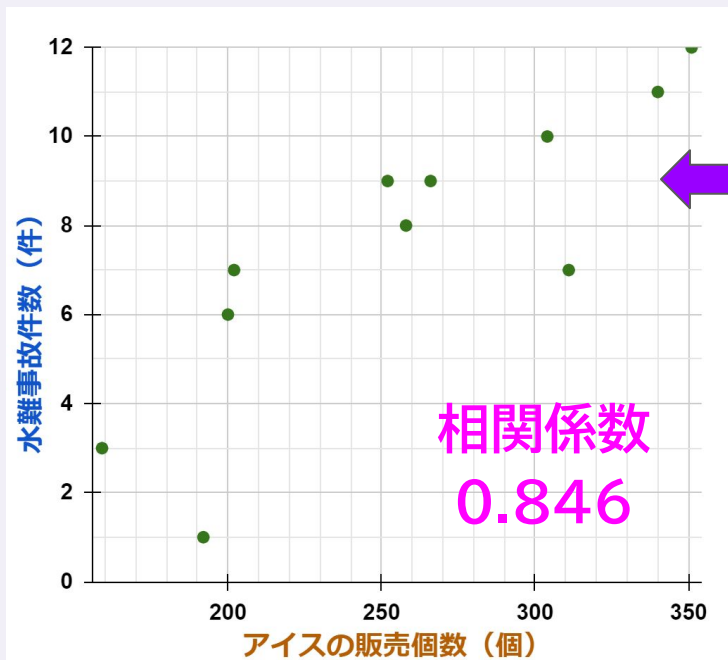
SEQ	x1	y1	x2	y2	x3	y3	x4	y4
1	10	8.04	10	9.14	10	7.46	8	6.58
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
11	5	5.68	5	4.74	5	5.73	8	6.89
平均	9.0	7.5	9.0	7.5	9.0	7.5	9.0	7.5
標準偏差	3.16	1.94	3.16	1.94	3.16	1.94	3.16	1.94
相関係数	0.82		0.82		0.82		0.82	

相関係数もトレンドラインも(ほぼ)同じ4種類のデータだが、散布図が全く違う



因果関係との違い / 擬似相関

相関関係があるからと言って、
因果関係(原因と結果の関係)になっているとは限らない。



原因

結果

アイスが売れると水難事故は増える
傾向にある??

擬似相関

アイスの
売上

?

水難事故
件数

関係

気温

関係

対応のある2標本t検定(母平均の差の検定)

ID	導入前	導入後	差
1	65	72	+7
2	78	83	+5
3	55	60	+5
4	82	85	+3
5	71	75	+4
6	63	69	+6
7	75	74	-1
8	88	92	+4
9	69	78	+9
10	72	77	+5
11	59	68	+9
12	81	85	+4
平均	71.5	76.5	+5.0

12人の生徒を対象に新しい学習法を導入し、導入前と導入後で同じ形式のテストを実施

帰無仮説: 導入前の平均点 = 導入後の平均点

対立仮説: 導入後の平均点のほうが高い。
(新しい学習法の効果あり)

p値 = T.TEST(B3:B14, C3:C14, 1, 1)

有意水準

0.0000246 < 0.05

片側検定

対応のある2標本

↓

帰無仮説は棄却される

XLMiner Analysis ToolPakの活用

拡張機能 ヘルプ ユーザー補助機能

アドオン

XLMiner Analysis ToolPak



t-Test: Paired Two Sample for Means



Variable 1 Range: B2:B14

Variable 2 Range: C2:C14

Hypothesized Mean Difference:

0

☒ Labels

Alpha: 0.05

Output Range: A23

1行目は
列名

平均の差の帰無仮説

有意水準

t-Test: Paired Two Sample for Means

	導入前	導入後
Mean	71.5	76.5
Variance	97.909091	78.090909
Observations	12	12
Pearson Correlation	0.964814	
Hypothesized Mean Difference	0	
df	11	
t Stat	-6.4226	
P(T<=t) one-tail	0.0000246219	
t Critical one-tail	1.7959	
P(T<=t) two-tail	0.0000492439	
t Critical two-tail	2.2010	

出力結果

相関係数

p値

p値

片側検定

両側検定

XLMiner Analysis ToolPakの活用

拡張機能 ヘルプ ユーザー補助機能

アドオン

XLMiner Analysis ToolPak



t-Test: Paired Two Sample for Means



Variable 1 Range: B2:B14

Variable 2 Range: C2:C14

Hypothesized Mean Difference:

0

☒ Labels

Alpha: 0.05

Output Range: A23

1行目は
列名

平均の差の帰無仮説

有意水準

t-Test: Paired Two Sample for Means

	導入前	導入後
Mean	71.5	76.5
Variance	97.909091	78.090909
Observations	12	12
Pearson Correlation	0.964814	
Hypothesized Mean Difference	0	
df	11	
t Stat	-6.4226	
P(T<=t) one-tail	0.0000246219	
t Critical one-tail	1.7959	
P(T<=t) two-tail	0.0000492439	
t Critical two-tail	2.2010	

出力結果

相関係数

p値

p値

片側検定

両側検定

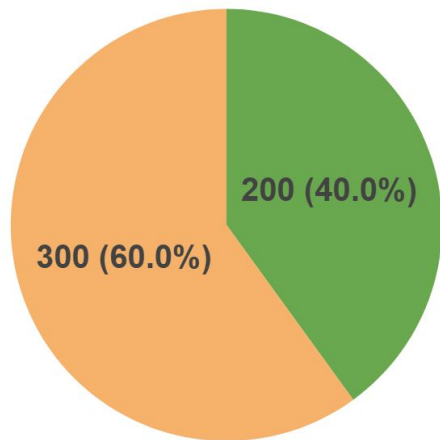
単純集計とクロス集計

中学生200名と高校生300名に「数学は好きか？」というアンケートを実施(○:好き、×:好きではない)

単純集計

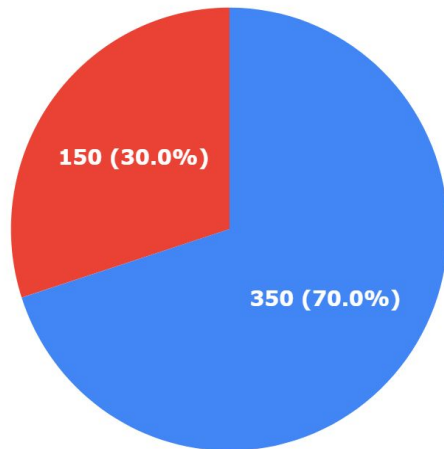
中学生と高校生の割合

● 中学生 ● 高校生



数学は好きか？

● はい (○) ● いいえ (×)



クロス集計

回答

		回答		合計
		○	×	
校種	中学生	148	52	200
	高校生	202	98	300
合計		350	150	500

独立性の検定(カイ2乗検定)

実測度数		回答		合計
		○	×	
校種	中学生	148	52	200
	高校生	202	98	300
合計		350	150	500

実際の状態
割合に違いが
ありそうな状態

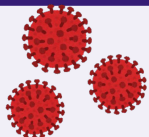
期待度数		回答		合計
		○	×	
校種	中学生	140	60	200
	高校生	210	90	300
合計		350	150	500

帰無仮説の主張
割合に違いの
ない状態

p値		
有意水準		0.05
帰無仮説		

=CHITEST(**実測度数**, **期待度数**)

データは嘘を付く??



検査結果

予測 \ 実際	陽性	陰性
	陽性	陰性
陽性	5	45
陰性	0	250

$$\text{正解率} = 255 / 300 = 0.85$$

$$\text{再現率} = 5 / 5 = 1.00$$



全員「陰性」!

予測 \ 実際	陽性	陰性
	陽性	陰性
陽性	0	0
陰性	5	295

$$\text{正解率} = 295 / 300 \div 0.98$$

$$\text{再現率} = 0 / 5 = 0.00$$

データを正しく捉え、適切な判断を行うのは人間の役割である。

生成AIとは？

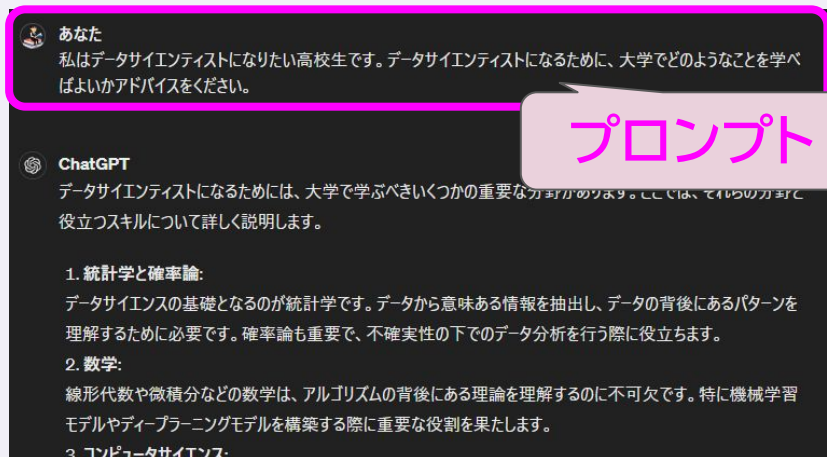
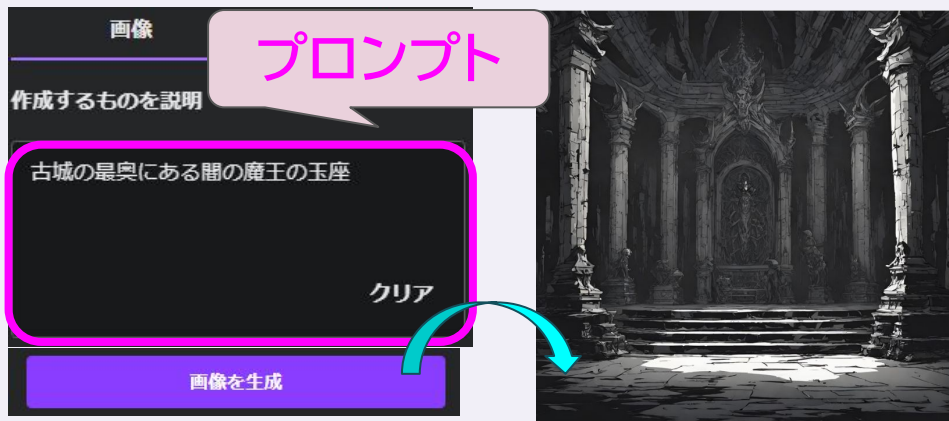
利用者の入力した指示や命令をもとに、
文章や画像などのコンテンツを生成する人工知能システム

画像生成AI

Canva

対話型生成AI

Gemini



大規模言語モデル (LLM : Large Language Model)

Transformer型 深層ニューラルネットワーク

入力

出力

プロンプト

文章の生成

Generative

Web上の文書などを
大量に事前学習

次に続く単語を
確率的に予測

Pre-trained

BIG DATA

62%

昔々...

あるところに

◆ データサイエンティストに求められる知識、技能、心構え

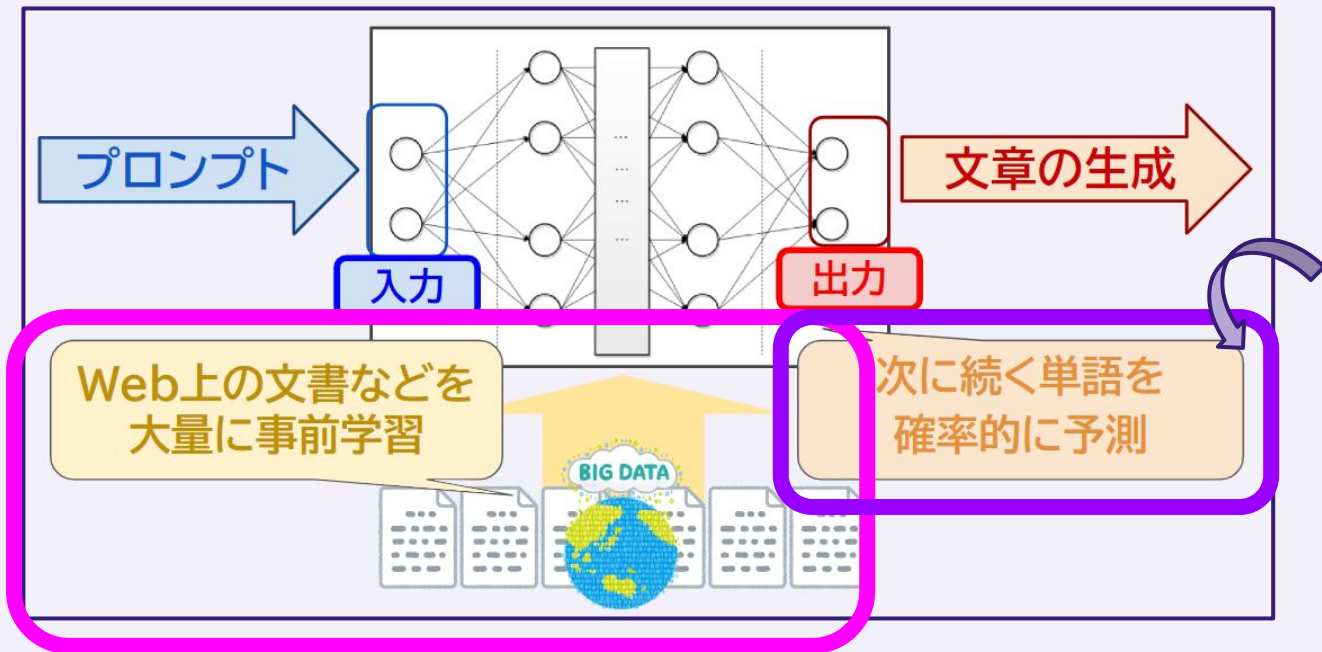
データサイエンティストは、多様なデータを分析し、そこから意味のある知見を導き出し、ビジネス課題の解決や意思決定に役立てる専門家です。

1. 知識

- 統計学・数学: データ分析の基礎となる知識です。特に、確率統計、回帰分析、線形代数、微分積分などが重要です。
- プログラミング: データ分析を行うためのツールを使用する必要があります。代

データサイエンティストに求められる知識や技能、心構えを教えてください。

Web上の情報を学習に利用することの意味



不正確な情報をもとにした予測を信用できる？

偏りのある情報をもとにした予測は偏るのでは？



この情報はいつも正しいの？偏りはないの？

ハルシネーション（幻覚: Hallucination）



You
日本で2番目に標高の高い山を教えてください。

ChatGPT
日本で2番目に標高が高い山は、剣岳（剣ヶ峰）です。剣岳の標高は3,193メートルで、日本アルプスの一角、特に北アルプスに位置しています。最高峰の富士山（3,776メートル）に次いで高く、日本の山岳信仰の対象ともなっている非常に険しい山です。登山者にとってはその美しさとともに、厳しい登山ルートでも知られています。

You
剣岳は日本で何番目に標高が高い山ですか。

ChatGPT
申し訳ありません、前の回答で誤った情報をお伝えしました。剣岳は日本で2番目に標高が高い山ではありません。

日本で2番目に標高が高い山は北岳（きただけ）で、その標高は3,193メートルです。北岳は南アルプスの最高峰であり、富士山（3,776メートル）に次ぐ高さを誇ります。剣岳の正確な標高は2,999メートルで、日本の山々の中では高い部類に入りますが、標高順位で2番目ではありません。再度、情報の誤りについてお詫び申し上げます。

🗣️ 📄 🔄 📌

最初の質問の回答

2番目に標高の高い山

剣岳（標高 3,193メートル）

次の質問の回答

2番目に標高の高い山

北岳（標高 3,193メートル）

剣岳の標高は2,999メートル

固定観念・先入観に基づいたバイアス



You

あなたは小説家です。新作の小説を作ろうと思います。34歳のIT企業の社長と31歳の秘書の恋愛を描いた物語です。読者の心をつかむような書き出しを教えてください。

IT企業社長が**男性**



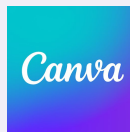
ChatGPT

雨が降る東京のある朝、ガラス張りのオフィスビルの最上階に立つ一人の男性が窓の外を見つめている。前は**柏木亮介、34歳、若くしてこの街の技術革新を牽引するIT企業の社長**。彼の視線の先には、ひととき大きな傘をさして歩く一人の女性がいる。**彼女こそ、秘書の桜井真希、31歳**。彼女はただの秘書ではなく、彼の心の支えであり、彼がまだ誰にも話せない秘密を抱えていることも知る**唯一の人物**だった。

「また遅くなりそうだな...」彼は小さく呟くと、そっと息を吐いた。

立ち止まり、再び窓の外を見た。真希が傘を閉じ、ビルの入り口に向かっている。アロもまた、彼女を助けるために残るのだろう。

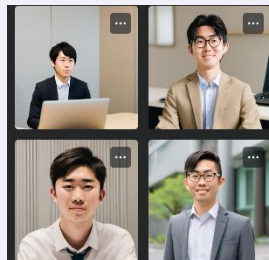
この日が、二人の関係に新たな一步を踏み出すきっかけとなるとは、この時の柏木にはまだ知る由もな



IT企業社長は
男性のみ生成

秘書が**女性**

秘書は
女性のみ生成



これらの画像を使用する場合は、いくつかのルールが適用されます。詳しくはこちら

日本のIT企業の若き社長

クリア



これらの画像を使用する場合は、いくつかのルールが適用されます。詳しくはこちら

日本人の秘書

クリア

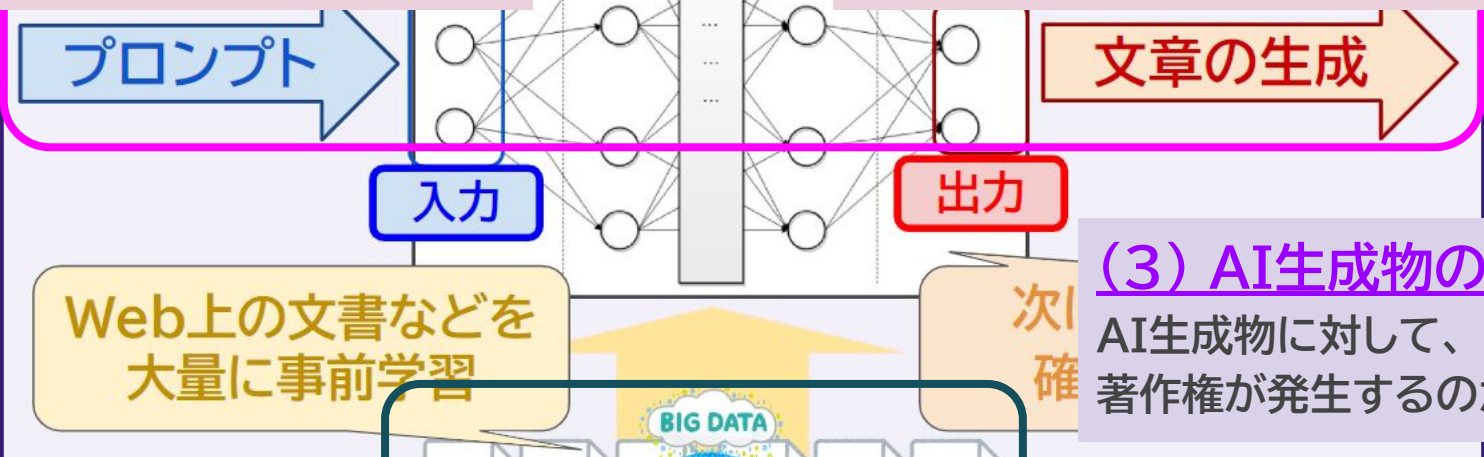
著作権を考える論点

(2-a) 生成・利用段階

プロンプトに既存の著作物を入力するのはOK？

(2-b) 生成・利用段階

既存の著作物をもとに生成されたAI生成物を利用するのはOK？



(1) 開発・学習段階

既存の著作物を学習用データとして利用するのはOK？

(3) AI生成物の著作権

AI生成物に対して、著作権が発生するのか？

モデルがその既存の著作物を学習している。

分からない場合がほとんど

結果として…

Yes

No

既存の著作物と類似したコンテンツが生成される可能性は低い。

類似性の判断

生成物が既存の著作物に類似している。

No

著作権侵害にあたる可能性は低い。

Yes

依拠性の判断

生成AIの利用者がその著作物の存在を認識していた。

プロンプトに、既存の著作物を利用した場合は明らかに存在を認識していたと言える。

Yes

No

著作権侵害にあたる可能性が高い。
損害賠償請求が認められる場合も考えられる。

ケース・バイ・ケース
損害賠償請求は認められず、
差し止め請求が認められる可能性が高い。

生成AIを利用する上での基本姿勢

基本 姿勢

生成AIに全てを委ねるのではなく、
最後は自己の判断や考えが必要である。



1. 出力内容の信憑性を吟味する

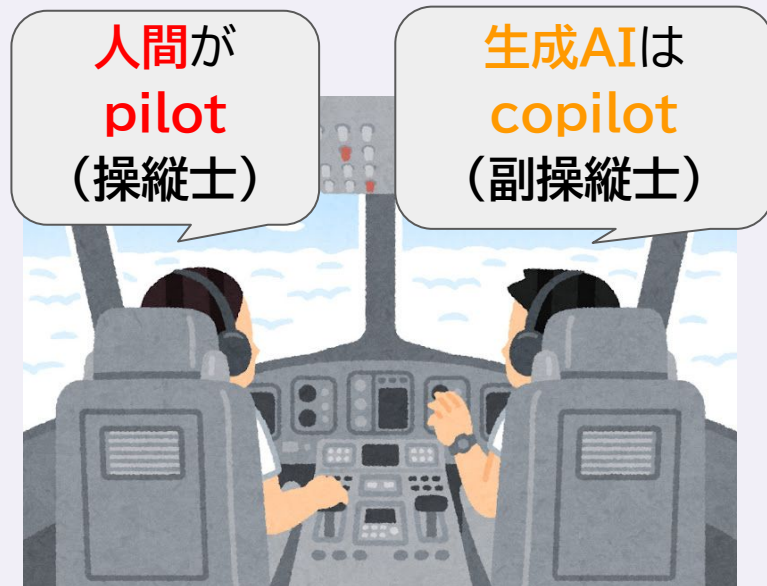
生成AIによる生成物には誤りや偏りが含まれている可能性がある。

2. 個人情報を入力しない

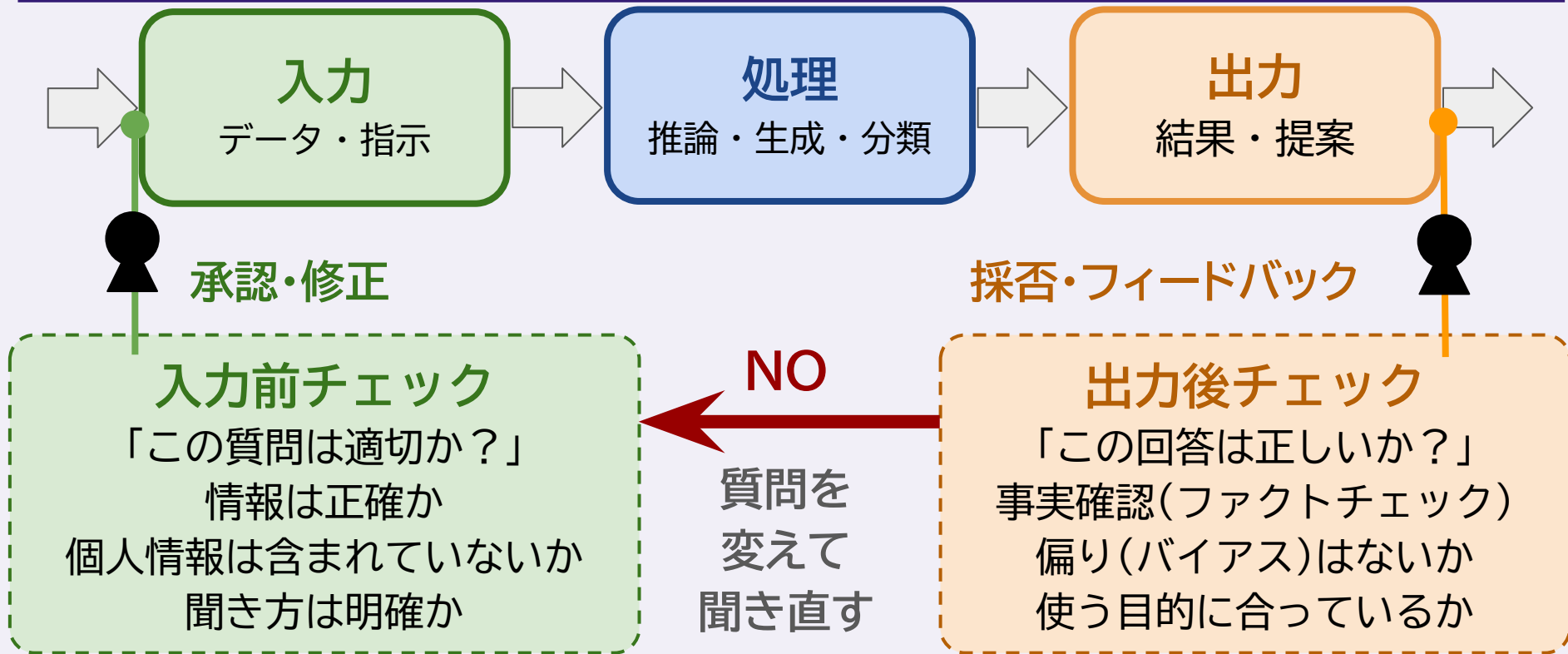
プロンプトに入力した内容も学習用データとして活用されることもある。

3. 著作権に配慮する

意図せずとも既存の著作物に類似した生成物が得られることがある。



Human in the Loopの考え方



AIを使う前と使った後に、人間がかならず確認する。

アンカリングのリスク

アンカリング: AIの最初の回答が判断を無意識に支配すること

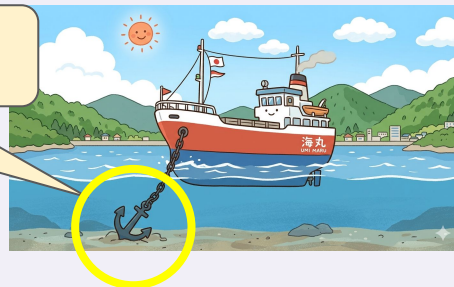
最初の回答 = アンカー(錨)

- 思考の制限

AIにテーマや構成を先に聞くと、提示された「平均的な答え」が頭から離れず、独創的な発想が妨げられる。

- 無批判な受容

論理的に見える文章を一度目にする「正解」と錯覚し、自分で深く考えることをやめてしまう。



まず自分の考えをまとめてから、AIとの対話に臨もう。

研究者としての誠実さと研究倫理

AIは「思考の素材」の提供者であり、判断と責任は常に人間にある。

意思決定の主体	研究の方向性を決め、AIの提案を採用・棄却するのは人間。 AIに決めさせない。
ファクトチェック	AIはもっともらしい嘘をつく(ハルシネーション)。 事実・データ・文献は必ず一次情報で確認する。
著作権と剽窃の回避	AI生成文の貼り付けは剽窃になりうる。 得た知見は自分の言葉で再構築する。
透明性の確保	どの工程で・何の目的でAIを使ったかを明文化し、 研究プロセスを開示する。

AIを使うことと、AIに委ねることは違う。

生成AIの効果的な使い方の例

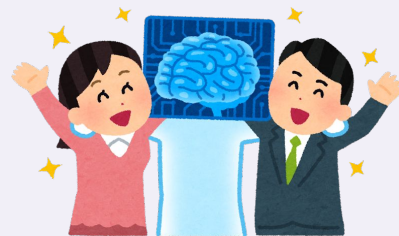
- ✓ アイディアを出す活動の途中段階で足りない視点を見つけて議論を深める。

思いもよらないアイディアを生み出すきっかけの提供

- ✓ 情報収集や情報の整理に活用する。

必要な情報を見つけ出しやすくする支援

重要な部分を抽出して要約 + 体系立ててまとめ



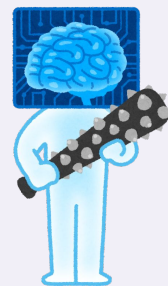
- ✓ 自身の作成した文書やプレゼンテーション資料の校正に活用する。

適切な単語や表現を探すことや改善点を見つけることの支援

生成AIの望ましくない使い方の例

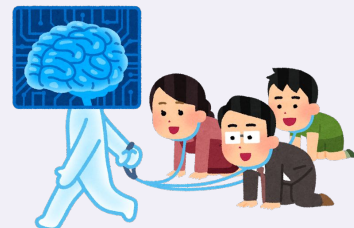
✕ 自身の判断の根拠として、最初から安易に頼る。

生成AIの出力を情報を鵜呑みにし、主体的に思考することを放棄するのは、自ら学びの機会を喪失している行為である。



✕ 生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物とする。

AI生成物をそのまま自己の成果物とする行為は、「捏造」や「剽窃」といった重大な学術的不正行為を招く恐れがある。



AI生成文章の特徴 AI生成物のコピペはバレル?!

あまりにも「平坦で」「整然として」「無難」な印象を受ける。

無難で表面的な内容:

独自の視点や深い洞察に乏しく、表面的な内容になりがちである。

抽象的な表現の多用:

具体例が少なく、一般論や概念的な話に終始する傾向がある。

感情表現や個人的な経験による情報の乏しさ:

感情や強調の表現が少なく、個人的な経験に基づく実例がない。

言葉に温度感が感じられず、一般的で単調に感じられる。

「AIでも書ける文章」に留まらない

人間である「あなた」だから書ける文章にこそ価値がある。

無難で表面的な内容:

独自の視点や深い洞察に乏しく、表面的な内容になりがちである。

抽象的な表現の多用:

具体例が少なく、一般論や概念的な話に終始する傾向がある。

感情表現や個人的な経験による情報の乏しさ:

感情や強調の表現が少なく、個人的な経験に基づく実例がない。

言葉に温度感が感じられず、一般的で単調に感じられる。

本日のまとめ

- 情報は発信者の意図が介在しており、**情報の信憑性**を検証する必要がある。(クロスチェックが有効)
- **用途**に合わせて**適切なグラフ**を選択する。
- 円グラフは「**12時方向から時計回り**」を原則とする。
- **相関関係と因果関係**は異なる。
- 生成AIに全てを委ねるのではなく、最後は**自己の判断**や考えが必要である。(生成AIはcopilotで人間がpilot)
- AIには生成が難しいような**独自の視点、個人の経験に基づく実例**を基にした温度感のある文章にこそ価値がある。
- データを**正しく捉え、適切な判断**を行うのは人間の役割である。



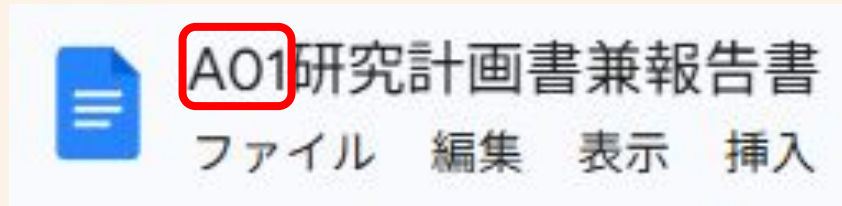
本日の活動

本日の活動内容

1. 教室の担当の先生との面談

現在のチーム、現在のテーマでの研究継続が難しくなっている場合には教室の教員に必ず相談すること。

2. 研究計画書兼報告書のチーム番号を新しいものに変更



3. 研究計画の検討

最終目標(この1年で明らかにしたいこと)から当面の目標へ